

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成23年5月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第34号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 化石発掘体験が大盛況



5月5日（こどもの日）、元気村化石発掘体験コーナーでは中学生以下の子どもたちに1日無料開放し、化石発掘体験棟は終日大賑わいしました。

5月14日には高砂の子ども会、5月15日は豊岡の子ども会がバス10台で400人が元気村での化石発掘を体験しました。企業組合発足以来、3週間に700人が化石発掘体験をしたことになり、月末までに更に350人の小学生が自然学校の最終課程で元気村にやっ



てきます。バスや乗用車で埋め尽くされた駐車場は発掘体験の子どもたちに加え、保護者らが恐竜焼きや売店での買い物を楽しんでいました。軽食堂の部屋には買い物客が列を作った。忙しくて目が回りそうだったが多くの人が利用してくれてよかった」と売上を記録しながらホッとした様子をみせていました。

## 里の子育て奮闘記

その③

前田浩三さん

留美さん ご夫妻

(阿草)



前田浩三さん、留美さんご夫妻には11歳（女）と10歳（女）、4歳（男）の3人の子どもさんがおられ、結婚当初からご両親と一緒に生活されています。浩三さんは野菜づくりに従事し、山南町村森の丹波野菜工房でベビリーフなどを栽培されています。

留美さんは三田市から阿草の奥山に

嫁がれ、田舎の中でも更に山奥の前田さん宅には当初は「すごいところに来たものだ」とびっくりと戸惑いもあったようです。

周りの民家からも離れた場所で、子どもさんの通学の際には阿草部落の集団登校の集合場所まで子どもの足で3・40分かかる距離を毎朝車で送っているようです。

特に、冬場の登下校の送り迎えは子どもさんにとっても大変なようです。

今は水も空気もきれいな山奥の生活になれ、3世帯家族の生活を楽しくおられます。

夜は子どもたちがそろう夕食は大変にぎやかだが、昼間の子どもが学校にいていない時間の昼食は大人ばかりで会話の少ない静かなのも対照的だと話しておられます。

留美さんは母親の節子さんが地域のいろんな役職をもって活躍しているうえ、丹波竜の里元気村かみくげの軽食部門の責任者でもあることから、家事の多くを任せられ、子どもの面倒を見ながらも元気村食堂でのお手伝いにも積極的に参加しています。

今までこのシリーズの紙面に登場してもらった2家族と同様に前田さん宅も3世代が同居しているため、子育てにも安心しておられるし、子どものしつけや教育の面でも親の存在には感謝している。また、子どもたちも元気でびのびと育ってくれているのがうれしいと話しておられます。節子さん同様、なかなかの肝っ玉かーちゃんの印象を持つ明るいお母さんでした。（レポーターSM）



## 元氣村かみくげ 創立総会開催される

企業組合元氣村かみくげの創立総会が5月1日、地域づくりセンターで開催されました。総会には出資申込者（組合員）74名のうち委任も含め62名が出席して組合設立の経緯報告、組合定款の説明や初年度の事業計画、収支予算案等について設立発起人から報告されました。

初年度は1140万円の売り上げを目指します。役員選出については選考委員に委ねた結果、代表理事（村長）に土田芳章氏、理事に柳川瀬義輝、村岡茂男、西田幸男、常岡芳朗、前田節子、宇津知子氏が決まりました。また、監事には永井良和氏（下滝）、村上俊明氏（篠場）が選出されました。任期は来年4月の総会まで。

最後に元氣村かみくげのモットー「我々は愛郷精神のもと和楽を尊び、情熱をもって、創意工夫に心がけ、一致協力して発展を図り、地域社会に貢献しよう！」

が確認され閉会しました。



## 多目的展示施設を一般公開 元氣村かみくげ



元氣村の新建屋の一つ、多目的展示室が5月21日、一般に公開されました。

66㎡の部屋には田中貞典氏（篠山市在住、元上久下小学校長）寄贈の大型恐竜看板「出たぞー丹波竜」や発掘現場の元風景画（油絵、60号）などが飾られ、展示ケースには千数百点の化石発掘体験によって取り出された恐竜などの骨片や歯、カエルやトカゲ、貝エビや卵の殻などが所せましと並べられています。

中央部には丹波竜化石のレプリカ（尾椎や血道弓）がケースのおさまり、山根馨氏（上滝）から寄贈された丹波竜化石発見の最初の報道から現在までを間断なく残した新聞スクラップや写真集が展示され、恐竜本などの学習本も整理されています。里づくり協議会メンバーの一人は「これから少しずつ展示内容を増やし、充実させることによって来訪者に喜んでもらえるのでは」と期待して話していました。

## 丹波竜の報道史を元氣村に寄贈 山根 馨さん（上滝）

平成19年1月の丹波竜化石発見報道から現在に至るまでの新聞、テレビでの報道の記録を12冊のファイルにまとめた新聞の切り抜きや写真集が元氣村展示室に寄贈されました。

寄贈したのは上滝の山根馨さんで、丹波竜発見からずっとテレビ、新聞で発表のあるたびに記録としてまとめてこられました。元氣村が企業組合としてスタートすることを機に多くの人にみてもらうようにと寄贈を思いつかれたそうです。

寄贈を受けた元氣村かみくげ代表理事（村長）の土田芳章さんは「なかなかこれだけの記録を集めるのは根気のいること。誰にでもできることではないだけに、有り難く頂戴し、広く来訪者に丹波竜をPRしたい」と話していました。



## 自治会ニュース

### ◆熊野神社鳥居再建工事始まる

阿草自治会

正面左側が約5センチ沈み危険性が指摘されていた熊野神社の鳥居が再建立されます。

5月25日、（株）友井社寺の請負工事で棟上げが行われました。直接工事は北太田の大前工務店で、工費は約1千5百万円。費用は茨木市の藤原敏男さん（阿草出身）の全額寄贈によって行われます。完成のあかつき、7月30日には阿草「川すそ祭り」が現地でとり行われ盛大な花火大会も例年どおりに計画され、グラウンドでは「あすか会」等によるバザーもされますので、上久下地区の皆さんもぜひ参加してください。（西田幸男）

### ◆駐在さんからのお知らせ

先般、地域づくりセンターから放送しましたが、最近地区内において「野焼き」や「ゴミ焼き」についての苦情が発生しております。火事や環境汚染にもつながりますので、くれぐれも細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

### 6月の予定

#### ◆6月4日（土）

恐竜化石第5次調査報告会 午後1時30分～ 化石工房「ちーたんの館」

自治協議会総会 午後7時30分～ 地域づくりセンター

◆6月11日（土） 恐竜の里づくり協議会例会 午後7時30分～